

『東亜』2026年4月号目次

■特集 「言説」の東アジア国際政治

\* 戦略的コミュニケーションと大国政治

— 東アジア国際政治への示唆 青井千由紀

\* 「話語権」強化を図る習近平政権と日本

— 「自主的知識体系」と安全保障をめぐるナラティブの融合 江藤名保子

\* 中国の影響工作に見る最近の動向とあるべき対応

— 信頼と協力を促進する対策を 市原麻衣子

■ASIA STREAM (2026年2月-2026年3月)

\* 中国の動向 4.5~5%の減速目標を受け入れた中国全人代 濱本良一

\* 台湾の動向 卓榮泰行政院長が訪問し WBC を観戦 門間理良

\* 朝鮮半島の動向 朝鮮労働党大会を5年ぶりに開催 室岡鉄夫

■COMPASS

\* 日中関係修復の難路 糸口を探る要件は何か 佐藤賢

\* 「ドミトリエフ・パッケージ」と中露関係 熊倉潤

\* 戦略的整合性と経済インテリジェンス・サイクルの確立 相良祥之

■Briefing Room

\* イラン核危機 背景と展望 溝淵正季

■Book Review on Asia 今月の一冊

\* 『アジア・トイレ紀行』(山田七絵 内藤寛子編著) 嵯峨隆

■ASIA SCOPE

\* 文化政治コンテンツとしての中国東北 楊駿驍

■滄海中国

\* 中国宗教の諸相(6) 洞天と仏山 一道教と仏教の聖地— 二階堂善弘

■企画連載

\* 米朝関係の新たな展開と米中 (第1回)

米朝首脳会談の可能性 伊豆見元

■巻頭言

\* 「国際話語権」—その起源から習近平政権初期へ 高木誠一郎

■New Publications on Asia

■表紙写真: Ikon-Images / アフロ